

2024年3月1日



公益社団法人  
石川県理学療法士会

ニュース  
No.158

編集人 山本 拓哉  
発行所 公益社団法人  
石川県理学療法士会事務局  
金沢市戸水1丁目25  
☎ (076) 254-1431  
発行人 北谷 正浩  
URL <http://www.ishikawa-pt.com/>



令和6年能登半島地震での士会活動

## 士会ニュースの項目

巻頭言：「助けてください」	石川県理学療法士会副会長 狩山 信生……	2
会長メッセージ：「いまだからできること、そして、いまからひつようなこと」	会長 北谷 正浩……	3
議事録		4
石川県災害リハビリテーション支援協会（石川 JRAT）活動（第一報）		8
特別寄稿：「平成28年熊本地震の経験を経て伝えたい想い」	熊本県災害リハビリテーション推進協議会 事務局次長 佐藤 亮……	10
県士会だより：「社会事業局業務推進部、事務局」		12
Physical Therapists and Institutions： 「社会福祉法人 陽翠水 児童発達支援・放課後等デイサービス ネクストステップ」		15
Active		16
賛助会員名簿		17
編集後記		19

# 「助けてください」

(公社) 石川県理学療法士会

副会長 狩山 信生

2024年は能登半島地震という未曾有の震災から始まりました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

今回の震災は広域に甚大な被害が発生し、その影響は計り知れなく、会員の皆様におかれましては、ご自身、ご家族の生活や各職場で未だ奔走されている日々かと推察します。当会でも発災直後から日本災害リハビリテーション支援協会(JRAT)の参画団体として避難所への支援活動を開始すると同時に全国各地のJRATが石川県へ入り私たちに力を貸してくれています。状況が刻々と変化し、混乱と長期化が危惧されますが会員一人ひとりの力を結束し、オール石川県理学療法士会で、この非常事態に立ち向かい少しでも早く日常を取り戻すべく取り組んでいかなければならないと思います。

「助けてください、もう限界です」

これは、会員や県内他士会の方からお聞きした言葉であると共に、1月中旬の私自身の素直な気持ちでもあります。自分よりも深刻な状況下で不眠不休での献身的活動をされている方々が県全域にいることによって、この苦しさを表現すること自体が悪であるかのような思いに駆られていました。そのような時期に同志から苦言を呈されました。「何やとるか分からん、もっと分かるように現状を教えてくれ、いくらでも協力する」と。何もわかっていないのに中途半端に情報を抱え込み、「助けてください」を正直に表現できず自滅に向かっていた私にとっては希望の言葉になりました。現在、同じ目的達成のために活動協力してくれている方々の使命感、能登を支えるという強い熱量と行動力に日々勇気もらっています。理学療法士に求められる専門性とオーバーラップしますが、何が課題なのか、その本質の原因を冷静に抽出し、行動できる人が石川県、当会には数多くいることを思い知らされました。多職種、他団体と顔の見える関係を作り、求められる支援を着実に届けていくことは災害支援活動をはじめ本会活動の根幹でもあります。旧態依然とした縦割りではなく、縦横斜めの連携がこの核になります。我々の専門家としての使命は対象者への自立支援ですが、避難所での活動目標も同様です。ある日突然に家族、自宅、社会的な役割を喪失した方々の心境はいかほどか想像を絶しますが、その方々の生活不活発病の惹起は我々なら容易に想像できます。高い理想は掲げられますが、答えは人の数だけ想定されます。被災された方々の「助けてください」という声なき声を拾い、必要な支援を届けられますよう、会員の皆様の五感で現場を知ってもらうことを切に願います。「助けてください！」



# 「いまだからできること、そして、いまからひつようなこと」

(公社) 石川県理学療法士会  
会長 北谷 正浩

令和6年1月1日能登半島地震により被害に遭われた会員並びにそのご家族に対してお見舞い申し上げます。また、亡くなられた方々に対し心よりお悔やみ申し上げます。

本会では、1月3日に能登半島地震災害対策本部を立ち上げ、石川JRATの参画団体として支援活動を開始しました。

災害支援を全くと言っていいほど経験したことがない石川JRATの中で石川県理学療法士会は、多くの仲間により、今までの災害でも経験したことの無い1.5次避難所～2次避難所に対する支援活動を行い、また被災者であり支援者でもある奥能登の会員の頑張りによって1次避難所を中心に被災者の方々の支援を行ってきました。

この約1か月間にわたり被災者でもある多くの会員の方々と県外からの地域JRATの関係者などのご支援により、何とかここまで活動を行うことができました。誠に感謝申し上げます。また、被災地への現地支援だけでなく、支援が円滑に行えるようにほとんど休みなく対策本部で活動してくれている会員にも感謝いたします。

私個人としてはあっという間の1ヵ月でした。今なお避難所に留まる方、罹災住居で生活する方など様々な状況がある中、やっと仮設住宅などの入居が始まりました。避難所支援だけではなく、新たな生活の場において、我々理学療法士ができることはなんなのか？そんなことも今一度考えてみましょう。

日々変わる状況がありますが、もうしばらく被災地の支援活動は続くことが予想されます。しかし、いつまでも県外からの支援を受け続けることができない事も予想されます。被災者でもある我々も自立を目指した活動に展開をすすめなければなりません。

いつも、お願いばかりで申し訳ありませんが、県民のため、そして自分や家族のために理学療法士として平時に少しでも早く戻れるよう災害支援活動に協力をお願いします。



# 理事会議事録

## 令和5年度 第6回 公益社団法人石川県理学療法士会 理事会議事録

1. 開催日時 令和6年1月11日(木)  
19:00～21:00
2. 開催場所 Zoom オンライン
3. 出席者 理事 北谷正浩、諏訪勝志、狩山信生、丸居夕利佳、木村創史、成宮久詞、平木清喜、森健太郎、霜下和也、小堺武士、土山裕之、山本拓哉、  
(12名/15名)

監事 後藤伸介、宮森俊充  
書記 宮地諒  
選挙管理委員長 内山圭太  
石川 JRAT 事務局 戸田悠介 (PT)

4. 欠席者 理事 濱野久美子、西田好克、  
石田修也  
監事
5. 議長の選任  
理事総数の半数以上の出席をみたので、議長に狩山信生を互選にて選出した。

6. 議事録署名人の選任  
定款第31条の規定により、次の者が選出された。

会長 北谷正浩  
理事 諏訪勝志、狩山信生  
監事 後藤伸介、宮森俊充

7. 議案及び議事の顛末  
第1号議案 2024年度表彰候補者について  
丸居理事より、2024年度の功労賞、会長賞、永年会員表彰の候補者について、提案がなされた。

審議の結果、各表彰の候補者について要件を満たしているか再確認することとなり、継続審議とした。

また、小堺理事より、理事会で候補者が決

定した後、表彰時に候補者が石川県理学療法士会会員ではなくなった時の対応についての議論が提起された。

協議の結果、どの時点で表彰候補者が石川県理学療法士会会員であれば表彰対象となるのかを表彰委員会で検討し、次回理事会で提案することとなった。

- 第2号議案 2023年度協会賞候補者の選出について

丸居理事より、2023年度協会賞候補者について、金沢大学の松崎太郎氏が候補者として提案された。

審議の結果、承認した。

- 第3号議案 令和5年5月奥能登地震被災者へのお見舞いに関して

丸居理事より、令和5年の奥能登地震被災者への見舞金について、会員5名より追加の申請もしくは希望があり、4名に対しては12月に見舞金(1万円)を渡したことが報告された。もう1名についても見舞金を渡すことが提案された。

審議の結果、承認した。

- 第4号議案 ビジョン検討ミーティングのすすめかたについて

霜下理事より、ビジョン第0版(案)についての説明がなされた。また、3月の一般会員との意見交換会を予定していたが、延期することが報告された。2024年9月を目途にビジョン第1版を作成することを目的としたビジョン検討委員会の立ち上げについて、提案がなされた。

審議の結果、承認した。

- 第5号議案 令和6年度事業計画案ならびに予算案の作成について

小堺理事より、令和6年度事業計画案ならびに予算案の作成についてタイムスケジュールが示された後、第1案が示された。

審議の結果、事業計画・予算案は継続審議(2月15日の理事会までに各部局等で確認・修正し、2月15日の理事会、遅くとも3月の理事会で承認する)とした。後藤監事より、震災の影響を踏まえたネガティブケースについてもシミュレーションを行うことが提言された。

#### 第6号議案 会員異動

(2023.10/02～2023/12/01)

新入会4名、復会0名、休会2名、退会2名 県内異動(改姓等含む)10名、県外異動7名(転入3名、転出4名)

(11月末現在 正会員1192名、休会184名、名誉会員2名、賛助会員35社)

審議の結果、承認した。

### 8. 報告事項

#### 1) 事業報告

##### <社会事業局>

##### スポーツ障害予防事業部(成宮)

#### 1. 高校野球サポート事業

学童野球対象野球教室

タイトル:投球障害予防について

日時:11月12日

講師:間所 昌嗣、早川省三

対象者数:25名

参加会員数:2名

#### 2. アスリート相談事業

日時:11月22日

会場:いしかわ総合スポーツセンター

対象者数:2名

参加会員数:2名

#### 3. その他

①児童生徒の運動器の健康に関する教育セミナー 2023 への出席

日時:11月18日

②スポーツ障害予防事業研修会

3月頃開催予定。状況に応じて企画する。

③高校野球サポート事業

トレーナー養成、学校保健系の活動に関連し、関係機関と調整中。

#### 介護予防健康増進事業部(平木)

##### 糖尿病フォーラム

#### 1. 理学療法ハンドブックの配布活動

①第59回 石川県民糖尿病フォーラム

日時:11月19日

会場:ホテル金沢(4階 エメラルド)

活動内容:体力測定:58名、ハンドブック配布:123冊

#### 2. いしかわ介護フェスタの運営協力

日時:11月4日

会場:県産業展示館3号館

活動内容:体力測定:125名、ハンドブック配付:176冊

#### 3. 介護予防・健康増進・生活習慣病予防支援に関する会員の派遣等

タイトル:いつまでも元気で健康に働き続けるために～体を動かそう～

日時:11月24日

講師:大崎 志帆

対象者数:50名程度(男性は1割程)

#### 4. ハンドブックの在庫確認について

介護予防健康増進事業部が年度末に行う予定。

#### 業務推進部(諏訪、丸居)

1. 七尾市の一体的実施:1月は3月以降に延期し、2月は検討中。

2. 珠洲市の伴走型保険者支援事業:1・2月に予定していたものは中止とし、今後は未定。

3. シルバーリハビリ体操普及啓発事業:

眉上会 1月末～3月の養成講習会は予定通り実施予定

志賀町 1月末のフォローアップ研修は延期

中能登町 全日程が終了  
七尾市 1月のフォローアップ研修は延期  
珠洲市 1月以降に予定していたものは延期。被災地の避難所で体操指導をしているシルシハ指導士の支援方法について検討している。  
白山市 2月シルリハのお試し会を開催予定。

#### 4. 三士会活動推進委員会

今年度は中止。来年度石川県理学療法士会が主幹として再度計画を練り直す。

### <学術局>

#### 生涯学習推進部（森）

1. 石川県理学療法士会学術局主催研修会
  - ①脳卒中片麻痺の歩行障害に対する理学療法～歩行分析と目標設定の考え方～  
日時：10月26日  
講師：大畑先生  
会場：オンライン  
参加会員数：県内63名、県外46名、計109名
  - ②循環器理学療法～理学療法士が覚えておくべき循環器疾患の診方～  
日時：11月30日  
講師：高橋先生  
会場：オンライン  
参加会員数：県内97名、県外62名、計159名
  - ③股関節機能障害に対する理学療法戦略  
日時：12月14日  
講師：建内先生  
会場：オンライン  
参加会員数：県内93名、県外83名、計176名

#### 2. 県士会主催症例検討会

2月4日に症例検討会が予定されていたが、中止もしくは延期する。  
1日でまとめず、短時間で平日の夜に行う予定。

### 研究部（土山）

#### 1. 石川県理学療法雑誌について

石川県理学療法雑誌を電子媒体とし、発行は年1回とする。ただし、各論文については早期掲載を行う。

論文の投稿数が少ないため、次回の石川県学術大会から、学術大会の座長や査読者と連携し、優秀演題を中心に石川県理学療法雑誌への投稿を促す。

#### 2. 第33回石川県理学療法学術大会

日時：2025年2月23日（日）

会場：金城大学

方法：対面開催

特別講演：原正彦先生

（株式会社 mediVR）

### <地区活性局>

（霜下）

1. ネットワーク構築事業（能登ブロック主催）  
タイトル：各職域での取り組みを知ろう  
日時：12月10日  
会場：オンライン  
参加会員数：33名
2. 今後の地区活性局事業について  
予定していた下記事業は能登半島地震に伴う準備や参加が困難であるため、中止とする。次年度での開催を検討している。
  - ・石川中央ブロックネットワーク構築（1月21日）
  - ・介護予防・地域ケア会議推進リーダー研修（1月28日）
  - ・加賀ブロックネットワーク構築事業（時期未定）

<事務局>

政策企画部（土山）

1. 12月に佐々木議員との懇談会を行った。
2. 他団体との政策懇談会事業  
2月7日に実施予定であった令和6年度石川県理学療法士会の県への政策要望に関する意見交換会は延期することとなった。

総務部（小堺）

1. 3月16日に開催予定であった北陸三県理学療法士会役員会及び交流会について、富山県理学療法士会より延期の連絡があったことが報告された。
2. 新規に事業を担当する者などに対して、部長もしくは局長から日当、交通費について事前に十分に説明をする必要があることが周知された。

<東海北陸理学療法学会準備委員会>

（霜下）

業者支払額が確定し、4月までに4月開催予定の東海北陸ブロック協議会理事会での報告および県内での監査を済ませる予定。

<選挙管理委員会>

（内山、小堺）

1. 代議員選挙について

選挙管理委員長の内山氏より、2024年1月10日に日本理学療法士協会の代議員選

挙の告示があり、それに伴う代議員の選出方法（立候補の受付期間など）についての報告がなされた。

2) 文書動向（2023.10/1～2023/12/31）

事務局より以下の報告がされた。

文書受理発送	受理文書	公文書	23件
		その他	37件
	発行文書	公文書	8件
		その他	17件

3) その他

<神経理学療法学会の石川地方会について>

（内山、小堺）

内山氏より、神経理学療法学会の石川地方会が発足され、会の目的、準備委員、運営、今後のスケジュールなどについての説明がなされた。

<令和6年能登半島地震における石川JRATの活動について>

（戸田、北谷）

石川JRAT事務局の戸田氏より、令和6年能登半島地震における石川JRATの活動状況について説明がなされ、石川JRATの活動協力について石川県理学療法士会へ改めて依頼がなされた。霜下理事より、石川県理学療法士会の石川JRAT本部への参画について提案され、スケジュールなどを石川県理学療法士会担当者が取りまとめることとなった。

次回理事会

日 時：令和6年2月15日（木）19時から  
場 所：オンライン

# 石川県災害リハビリテーション支援協会(石川JRAT)活動(第一報)



石川 JRAT 事務局

戸田 悠介 (金沢医科大学病院)

石川県理学療法士会 災害対策委員長

吉本 真樹 (石川県立中央病院)

石川県理学療法士会は「石川県災害リハビリテーション支援協会(石川JRAT)」の構成団体として、平時より災害リハビリテーション支援チームの育成や各種関係団体とのネットワーク構築等に取り組んでいました。令和6年能登半島地震発災後は、全国組織である「一般社団法人 日本災害リハビリテーション支援協会」と連携して、災害対策本部を設置し、石川県医師会・石川県 作業療法士会・石川言語聴覚士並びに全国の地域 JRAT とともに避難所支援等を開始しております。

今回は、第一報としてこれまでの活動履歴並び活動実績をお知らせいたします。石川県理学療法士会会員の皆様には石川 JRAT 活動への引き続きのご協力を何卒お願い申し上げます。

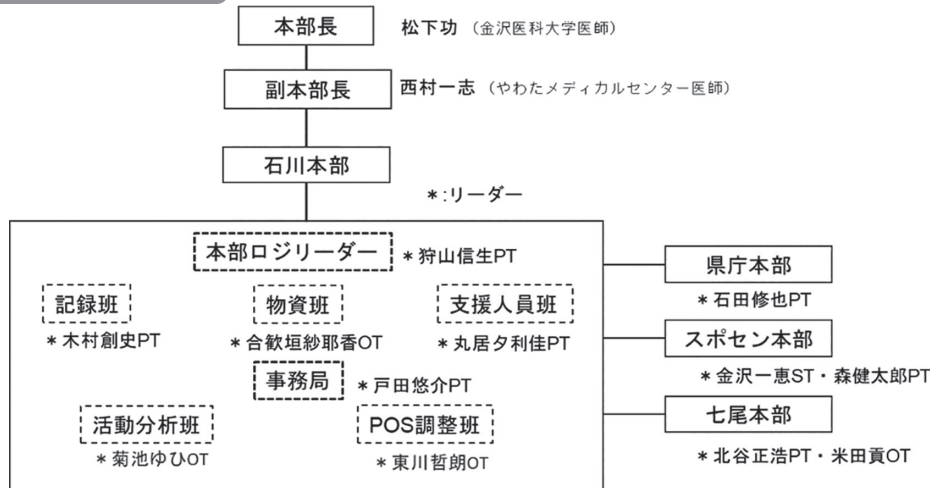
## 活動履歴

\* 下線は、石川県理学療法士会活動

- 2024.1.1 発災
- 1.2 石川県庁にて情報収集開始
- 1.3 石川 JRAT 災害対策本部設置  
(金沢医科大学病院内 \* 1.13 石川県リハビリテーションセンターに移転)  
県土会 臨時担当者会議  
会員への安否確認連絡開始
- 1.5 災害支援協力者募集(第1報)
- 1.7 七尾本部設置  
(公立能登総合病院 \* 1.17 石川県能登中部保健福祉センターに移転)
- 1.8 いしかわ総合スポーツセンター(1.5次避難所)にて活動開始 穴水町避難所にて活動開始
- 1.9 七尾市避難所にて活動開始
- 1.11 県土会 理事会 JRATの支援体制にて協議
- 1.14 志賀町避難所にて活動開始
- 1.17 能登町避難所にて活動開始
- 1.18 中能登町避難所にて活動開始
- 1.19 災害支援協力者募集(第2報)
- 1.21 珠洲市避難所にて活動開始
- 1.22 小松市総合体育館(1.5次避難所)にて活動開始 \* 現在は閉鎖
- 1.25 輪島市避難所にて活動開始
- 1.28 県土会全会員の安否確認終了

## 石川 JRAT 組織図

\* 2.10 現在





## 活動実績

\* 2月15日分まで

活動参加延べ人数 : 2,272人 (石川県理学療法士会員 492人)  
避難所派遣延べチーム数 : 371チーム  
主な活動地域 : 七尾市、志賀町、穴水町、中能登町、能登町、輪島市、珠洲市  
いしかわ総合スポーツセンター、石川県産業展示館等

## 主な活動内容

### ●被災地：珠洲市

文：濱野 久美子

実働部隊の活動として、珠洲市、輪島市、能登町、穴水町、七尾市、志賀町では、地域 JRAT とともに現地のリハビリテーション専門職が帯同し避難所で活動しています。避難所アセスメント、避難者のリハビリテーションを中心とした活動と同時に、避難所毎の環境調整の一環として福祉用具の必要性を検討し、適合判定までを行っています。

珠洲市では1月21日より、地域 JRAT による災害リハビリテーション支援活動が開始となりました。平時から地域の集会所などで出前講座などを行っていたこともあり、避難所の把握や運営にあたっている住民とのコミュニケーションなど、微力ではありますが部隊の皆さんを支援できるよう活動しています。その中では、地域住民との繋がりが有事の際に大きな力となっていることを実感しています。



3年前から珠洲市で取り組んでいるシルバーリハビリ体操では、珠洲市で生活を続けている指導士の中に発災4日目から、避難所で体操を始めた指導士がいました。活動を行っている指導士がいるとの話を聞き、「私も珠洲のために何かできれば…」と少しずつ指導士による活動が広がってきています。珠洲のために、地域の住民のためにと活動を行っている指導士を、私は全力で支援し続けたいと思います。

### ●いしかわ総合スポーツセンター（1.5次避難所）：スポセン

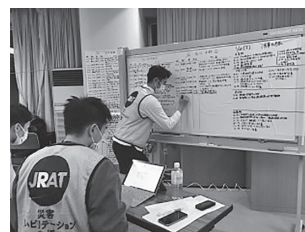
文：石田 修也

今回前例のない避難者支援が、スポセンを中心に設置された1.5次避難所になります。スポセンには被災市町以外の介護施設への移送の方のための一時（いっとき）待機ステーションが併設されました。これは、被災地では避難者を抱えきれない状況になるため、その方々を被害の少ない金沢市以南を中心とした2次避難所や介護施設等へ避難させるための調整施設としての役割を担っています。スポセン内の各入所エリアの環境調整および入所者の個別評価、住環境調整、深部静脈血栓症予防、生活不活発予防（集団アプローチ）と多岐にわたる関わりを行っています。1.5次避難所では現状に対する対応だけでなく、次の避難先のことも想定した関わりや助言が身体的・心理的な部分で必要とされています。

### ●石川 JRAT 災害対策本部：石川本部

文：丸居 夕利佳

石川本部、県庁本部や七尾本部では、刻々と変化する状況下でも、実働部隊が安全に円滑に活動できるよう、他団体との活動調整、情報共有、人員調整や記録、マニュアル作成などを行っています。臨機応変な対応を求められることが多く、日々悪戦苦闘しています。間接的ではありますが、被災者や避難者を引き続き支援していきたいと思っています。



## 災害支援協力者募集！

災害支援活動にご協力いただける方を広く募集しております。

右記コードより、申し込みをお願いいたします。

<お問い合わせ>

石川県理学療法士会 災害対策委員会 吉本 真樹

E-mail : yoshimoto.ipch@gmail.com



## 「平成 28 年熊本地震の経験を経て伝えたい思い」



熊本県災害リハビリテーション推進協議会 事務局次長  
公益社団法人 熊本県理学療法士協会 理事  
一般社団法人 日本災害医学会 評議員  
佐藤 亮

このたびの令和 6 年能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

平成 28 年熊本地震において、JRAT は設立後初の全国規模での災害リハビリテーション支援活動を約 3 カ月展開しました。熊本 JRAT 事務局を担当していた熊本県理学療法士協会は、地震により会員の約 1/4 は被災しており、協会自体が機能不全に陥っていましたが、被災県として全国から地域 JRAT の支援チームを受入れる熊本 JRAT 災害対策本部運営を中心的に行いました。効率のよい支援活動を展開するためには本部機能が重要となりますが、実践的な訓練も行っておらず全てが初めての経験であったため多くの混乱が生じました。被災した限られた会員が本部に入らざるを得ない状況となり、計り知れない精神的・身体的負担をかけました。災害に対応できる人材育成のための教育や訓練を定期的を実施し、適切な対応ができるよう平時から知識、技術を習得しておくことが極めて重要だと感じています。また、被災しながら災害リハビリテーション支援活動に参加することは望ましくありません。できるだけ多くのリハビリテーション専門職に災害時にできること、またその準備を啓発しておく必要があります。

災害リハビリテーションは特別ではありません。理学療法士が行う災害リハビリテーション支援は、地域住民に対して平時に行っている予防理学療法などの知識や技術を臨機応変に用いることが求められます。災害リハビリテーション支援活動を国際生活機能分類（ICF）に置き換えて考えてみると、物的環境や人的環境といった「環境因子」の急激な破綻が他の因子へ波及することを防ぐ取組みであり、災害時要配慮者支援、避難所環境整備、生活不活発病予防、エコノミークラス症候群予防などは地域リハビリテーション活動の一環であると理解できます。ただし、平時の理学療法の提供とは違い、災害発生時という特殊な環境であるため、惨事ストレスには注意が必要です。惨事ストレスとは、通常に対処行動機制がうまく働かないような問題や脅威（惨事）に直面した人、あるいは惨事の様子を見聞きした人に起こるストレス反応を指します。石川 JRAT の一員として活動している方々は、帰任後、理学療法士として安全・質に影響を及ぼさないように予防が必要です。休息、食事、睡眠を確保することはもちろん、日頃行っているストレス解消法を実践し、一人で抱えこまないように心掛けてください。

令和 6 年能登半島地震においては、熊本地震同様に全国規模での支援活動が展開されています。しかし、時間の経過とともに地域 JRAT からの支援は徐々に縮小していきます。それはどの保健・医療・福

社チームも同じであり、熊本地震の際は約2カ月でJRATの県外派遣は終了しています。従って、最後まで石川県民の保健・医療・福祉の向上のためにリハビリテーション支援に尽力するのは石川県内の理学療法士などとなります。発災直後の被災混乱期から災害リハビリテーション支援活動に従事されていた方々がいる一方で、活動に参加したくとも諸事情でできない方もいらっしゃると思います。そのような方々は負い目や罪悪感を持つ必要はありません。私も熊本地震の際は、所属施設が被災したため病院の復旧に追われており、JRAT活動に参加できたのは発災から約3週間が経過した応急修復期の頃でした。当時の私の災害リハビリテーションに関する知識と技術は、発災約2カ月前に公益財団法人国際医療技術財団（JIMTEF）災害医療研修ベーシックコースを修了した程度であり、振り返ると災害への備えはほとんどできていませんでした。災害リハビリテーション支援は、最終的には地元のリハビリテーション資源に引き継いでいきます。仮にJRATでの活動が叶わなかったとしても、地域理学療法を提供できるようになる復旧期・復興期で理学療法士として平時同様に活動することも災害リハビリテーション支援活動に参加したといえます。被災自治体においては、建設型応急住宅も建設されるようです。環境適応能力が低い要配慮者などの被災者に対して、住宅改修案の提案、新しいコミュニティ作りのお手伝い、活動や参加の機会の提供など、理学療法士に出来る支援は多く存在します。災害支援に絶対的の正解はありません。復興への道のはこれから長く続きます。石川県理学療法士会の皆様の力を結集し対応することになると思いますが、もし助けが必要であれば遠慮なく申し出てください。

今回、拙文ではございますが熊本地震の経験を経て私が被災された皆様に伝えたい想いを書かせて頂きました。石川県理学療法士会の皆様におかれましても、落ち着いてからで構いませんので、今回の教訓を関係者へ伝承して頂きたいと思っております。

被災地域の皆様の安全と一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

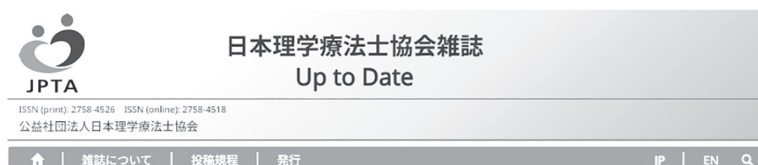
#### \*メディアネットワーク部からのお知らせ

今回、突然の依頼にも関わらず公益社団法人 熊本県理学療法士協会 理事 佐藤亮氏は快く執筆依頼を承諾して頂きました。誠にありがとうございます。

併せて、佐藤亮氏は日本理学療法士協会のホームページ内学術誌『UP to DATE』の2月号にて災害リハビリテーションについて執筆されている事をお知らせ致します。詳細に関しましては下記URL及びQRコードからご確認下さい。

#### \*日本理学療法士協会雑誌 Up to Date

URL : 「<https://jpta-journal.org/>」



# 県士会だより

令和5年度石川県地域包括ケア推進のための伴走型保険者支援事業

## 石川県シルバーリハビリ体操指導士交流会 in SUZUを開催して

珠洲市総合病院

シルバーリハビリ体操認定講師 三上 琢也

平成30年度から開始された石川県でのシルバーリハビリ体操普及啓発事業では、養成されたシルバーリハビリ体操指導士（以下、指導士）が総勢307名となり、現在5市町で活動しています。

今回、県内初となる5市町合同の指導士交流会が珠洲市で行われ、市町の垣根を越えて大いに盛り上がりました。また、広島県から2名の講師をお招きして広島県豪雨災害時の指導士活動についてご講演をいただき、平時や有事に何が出来るかを皆さんと一緒に考えました。

それでは、研修会の様子を会員の皆さんにご報告させていただきますので、是非ご覧ください。

### 【交流会内容について】

日 時：令和5年12月3日（日） 12時00分～15時00分

場 所：珠洲市ビーチホテル

内 容：講演「広島県における災害発生時の指導士活動について」

尾道市役所瀬戸田支所 理学療法士 小西恭子氏

熊野町高齢者支援課 理学療法士 尾崎麻里氏

各市町の活動報告（志賀町、中能登町、七尾市、能都町、珠洲市）

グループワーク「災害時に何が出来るか」「平時から何をしておくか」



広島県豪雨災害の際には、発災2日後から指導士が自主的に体操教室再開に向けて活動していたそうですが、普段の活動場所が避難所になっていたり、避難者から出入りを拒否されたりと活動再開は簡単ではなかったようです。その中でも住民のためにと活動を続け、有事のための活動マニュアルも作成するなど前向きにされており、とても力強いなと感じました。

グループワークでは、平時から地域と顔の見える関係作りに取り組むことが大切だという意見が多く出ました。指導士の活動が地域に根差したものとなることで、住民の声が届きやすくなり、どんな困難な状況でも高齢者が元気に暮らしていくための場が作られていくのだと感じました。指導士が活発に意見を交わす姿に地域の絆が深まっていく未来を感じ、指導士にも私たちにとっても貴重な時間となりました。

### ＼体操教室の打ち合わせ／



### ＼集団での評価や体操／



## 【アンケート結果】

回答数 43件 / 44件 (回答率 97.7%)

年齢 30歳代：3名 (7.0%)、40歳代：4名 (9.3%)、50歳代：1名 (2.3%)  
60歳代：17名 (35.9%)、70歳代：16名 (37.2%)、80歳代：2名 (7.4%)

## 交流会の満足度

	大変満足	満足	どちらとも言えない	不満	大変不満
昼食会	10 (23.3%)	26 (60.5%)	7 (16.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
研修会	20 (46.5%)	21 (48.8%)	2 (4.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
各市町報告会	15 (34.9%)	21 (48.8%)	7 (16.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
グループワーク	16 (37.2%)	21 (48.8%)	6 (14.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

## 県内のシルバーリハビリ体操指導士との交流

希望する (対面)：33名 (76.7%)、希望する (オンライン)：4名 (9.3%)  
どちらとも言えない：6名 (14.0%)、希望しない：0名 (0.0%)

♪交流会に参加された県内シルバーリハビリ体操指導士の皆さん♪



石川県理学療法士会はこれからも指導士の皆さんの活動を支援していきます！  
活動に興味のある方は是非ご連絡ください (^v^)

## 【問い合わせ先】

社会事業局業務推進部 濱野久美子  
Email : gyomu@ishikawa-pt.com

## 【重要】事務局からのお知らせ

### 〈重要①〉令和6年度異動・休会・退会等の手続きについて

随時受付けておりますが、4月1日付で登録情報に反映させるには2月20日までに  
お手続きをお済ませいただく必要がございます。年会費請求等のお手続きに影響があ  
る場合がございますのでご注意ください。

★詳細：協会 HP [理学療法士向けサイト] MENU →  
[協会からのお知らせ] → [各種手続き] → [一覧/各対象項目]

### 〈重要②〉令和6年度年会費請求時期、会費免除等について

【すべての会員の方へ】

#### ◎震災による影響のため、令和6年度の協会費・士会費請求 開始を令和6年6月に延期します。

クレジットカード払い 6月28日請求予定  
口座引落 7月12日引落予定  
コンビニ払 7月31日振込期限で用紙を発送予定

#### ◎会費未納にはご注意ください

会費納入期限は追ってご案内いたしますが、期限内に納入が確認出来なかった  
場合には、会員資格の喪失により退会の手続きをさせていただくことがあります。

#### ◎ご確認をお願いいたします

振替指定口座残高、マイページ「郵送物送付先」、金融機関営業日等

★詳細：協会 HP [理学療法士向けサイト] MENU →  
[協会からのお知らせ] → [各種手続き] → [一覧/年会費]

【令和6年能登半島地震で被災された会員の方へ】

#### ◎ご自宅が被災された方の会費免除・見舞金支給について

ご自宅や車両に被害があった方は、日本理学療法士協会の会費減免・見舞金等の支給  
に関する規程に基づいて年会費の免除、見舞金の支給を受けることができます。また、  
加えて当会からの見舞金を当会慶弔規程に基づき支給いたします。当会会費の免除は  
5月の定時社員総会に諮り承認を受けた後に対応する予定です。

家屋・車両に被害があった方は「見舞金・弔慰金および会費免除申請書」に必要事項  
をご記入のうえ、自治体が発行する「罹災証明書（コピーで可）」を添付して当会事  
務局へご郵送ください。令和6年度会費納入後に見舞金・弔慰金および会費免除申請  
書をご提出された場合には、年会費を払い戻します。

★詳細 日本理学療法士協会トップページ > 災害時に備えよう！ > 災害支援活動一覧 >  
令和6年 能登半島地震に関する情報及び対応について

### 〈重要③〉令和6年度定時社員総会について

令和6年度定時社員総会は5月26日(日)を予定しております。

詳細は追ってご連絡いたします。

以上.

<お問い合わせ>

公益社団法人 石川県理学療法士会 事務局

〒920-8204 石川県金沢市戸水1丁目25

TEL：076-254-1431 FAX：076-254-1432

Mail：info@ishikawa-pt.com

# Physical Therapists and Institutions

- ① 氏名(施設名)
- ② 経験年数
- ③ 出身地・出身校
- ④ あなたの施設を簡単に紹介してください
- ⑤ 今勤務している施設で主にどんな仕事に携わっていますか?
- ⑥ どうして理学療法士になろうと思いましたか?



① やぶこし あきこ  
**藪越 明子**

(社会福祉法人 陽翠水 児童発達支援・  
放課後等デイサービス ネクストステップ)

- ② 18年目(福祉6年目)
- ③ 石川県(小松市)・福井医療技術専門学校



- ④ 児童発達支援と放課後等デイサービスの多機能型事業所で1日の定員は20名です。未就学児から18歳までの児が対象で、主に発達障害、身体障害児、医療的ケア児が利用されています。事業所には療法士(PT・OT)、保育士、看護師の職員がいます。療法士は機能的な評価や分析を主に担い、遊びを広げ展開する部分は保育士が担うなどそれぞれの職種の強みをいかながら療育をおこなっています。
- ⑤ 主に児童発達支援管理責任者として、家族や相談員など関係機関との連絡調整などをおこなっています。また、県の派遣事業として特別支援学校にて姿勢や運動面における工夫などを学校の先生と一緒に相談する機会もあります。当事業所の利用者は、発達性協調運動障害のような症状を呈する方も多いです。そのため、運動面の評価を行い体幹や肩甲帯の機能を高め体作りを行うとともにサーキット遊びなど様々な運動経験を積み重ねる事でADLの向上や運動面でのぎこちなさを軽減できるように日々模索しながら関わっています。興味の幅が狭く遊びの経験や遊びの幅が狭い児も多いです。様々な活動を通して「できた!」という経験をたくさん積み重ねて自信をつけられるよう児と一緒に楽しみながら働いています。また、将来の自立に向けて自分の体の特徴を知り、自分でコンディショニングを整える方法を身につける機会を設けています。
- ⑥ 高校時代、野球で怪我をした時に理学療法士の方に治療、指導を受けて選手としてプレーを継続できるように一緒に支えてもらい興味を持ちました。

## 理学療法士1名募集!

能登半島地震被災者対象求人(被災者以外も応募可)

- ① 能登半島地震被災者優先採用
- ② 常勤勤務者希望
- ③ 雇用形態、勤務期間応相談

医療法人社団隆整会川北病院  
(整形外科・リハビリテーション科)  
金沢市野町1-3-55  
076-241-8351

担当: 筆矢、堀



厚生省、身体障害者福祉法、労働省指定  
(社)日本義肢協会会員 登録・中部115号

## (株)金沢義肢製作所

〒920-0935  
金沢市石引1丁目11の6  
TEL (076) 231-3328  
FAX (076) 262-0930



SAISEIKAN Co.LTD.,  
Prosthetist & Orthotist

## (株) 濟世館

会社 金沢市三口新町2-2-25  
TEL 076 (231) 7284  
FAX 076 (231) 6708

# Active

## 臨床実習指導者講習会に参加して

整形外科米澤病院 中村 郁也

この度、令和5年11月11・12日にオンラインで開催された臨床実習指導者講習会に参加させて頂きました。講習会では、42名の理学療法士・作業療法士が参加されており講義を行い、7班に分かれて講義内容に沿った演題でグループディスカッションが行われました。



今回の講義では、パワハラなど様々な実際の指導の現場で起こりうる課題や、学生個人の性格等に対する指導の工夫等について具体的な事例を通じて学ぶことができ、更に学生とのコミュニケーションが必要であることも改めて認識することができました。また、参加された経験豊富な先生方とのディスカッションを通じて様々な考えや意見を聞いた点も非常に有意義な経験となりました。

この講習会を通じて、実習指導者としての自分の役割を再確認することができました。これから学生を指導できる立場となりますが、今回の経験を生かし、学生の成長に寄り添い、適切なサポートを提供する一方で、自らも常に学び、成長していきたいと思えます。

## 石川県理学療法士会学術局主催研修会：

## 循環器理学療法～理学療法士が覚えておくべき循環器疾患の診方～に参加して

城北病院 徳本 隼也

令和5年11月30日にオンラインで開催された循環器理学療法～理学療法士が覚えておくべき循環器疾患の診方～に参加しました。今回の講義は、石川県理学療法士会主催で高橋哲也先生が東海北陸理学療法学会で講演された内容を深め、さらに新たな知見を加えてお話しをいただきました。



私は、地域包括ケア病棟に所属しており、様々な疾患の患者様を担当する上で、循環器疾患については苦手意識があり、運動強度や評価・治療プログラムに悩んでいました。そんな中、講義からSPPBのカットオフ値や評価の詳細から考えられる問題点や、何となくの運動ではなく退院後の生活を考えた運動プログラムの大切さが分かり、離床し、CKCトレーニングやADLに繋がる運動の重要性を再確認する事ができました。

講演の中で特に印象に残ったのが、「運動が定量化できていないと効果もリスクも定量化できない」という言葉でした。今後は評価に基づく運動療法と患者様の目標に合わせた運動プログラムを行っていききたいと思います。



# 賛助会員名簿

【2024年1月31日現在】

－ A 会員 －

施設名	郵便番号	住所	TEL
金城大学	924-8511	白山市笠間町 1200	076-276-4400
社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院	926-8605	七尾市富岡町 94	0767-52-3211
北陸大学	920-1180	金沢市太陽が丘 1-1	076-229-1161

－ B 会員 －

専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー	921-8032	金沢市清川町 2-10	076-280-8151
国際医療福祉専門学校七尾校	926-0816	七尾市藤橋町西部 1	0767-54-0177
医療法人社団橘会 整形外科米澤病院	920-0848	金沢市京町 1-30	076-252-3281
特定医療法人社団 勝木会	923-8551	小松市八幡イ 12-7	0761-47-1212

－ C 会員 －

医療法人社団慈豊会 久藤総合病院	922-0024	加賀市大聖寺永町イ 17	0761-73-3312
医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院	920-8621	金沢市小坂町中 83	076-252-2101
医療法人社団 有川整形外科医院	924-0882	白山市ハツ矢町 232-2	076-275-7500
石川県リハビリテーションセンター	920-0353	金沢市赤土町ニ 13-1	076-266-2860
社会福祉法人 恩賜財団 済生会 石川県済生会 金沢病院	920-0353	金沢市赤土町ニ 13-6	076-266-1060
医療法人社団 映寿会 映寿会 みらい病院	920-8201	金沢市鞍月東 1-9	076-237-8000
金沢医科大学病院	920-0293	河北郡内灘町大学 1-1	076-286-3511
公益社団法人石川勤労者医療協会 城北病院	920-8616	金沢市京町 20-3	076-251-6111
日本赤十字社 金沢赤十字病院	921-8162	金沢市三馬 2-251	076-242-8131
医療法人社団博友会 金沢西病院	920-0025	金沢市駅西本町 6-15-41	076-233-1811

- C会員 (続き) -

施設名	郵便番号	住所	TEL
医療法人社団 浅ノ川 金沢脳神経外科病院	921-8841	野々市市郷町 262-2	076-246-5600
独立行政法人地域医療機能推進機構 金沢病院	920-8610	金沢市沖町ハ15	076-252-2200
医療法人社団 下崎整形外科医院	924-0802	白山市専福寺町 158-3	076-274-5000
市立 輪島病院	928-8585	輪島市山岸町は1番1地	0768-22-2222
珠洲市総合病院	927-1213	珠洲市野々江町ユ部 1-1	0768-82-1181
医療法人社団 竜山会 金沢古府記念病院	920-0362	金沢市古府 1-150	076-240-3555
医療法人社団 和楽仁 芳珠記念病院	923-1226	能美市緑が丘 11-71	0761-51-5551
医療法人社団 瑞穂会 みずほ病院	929-0346	河北郡津幡町字潟端 422-1	076-255-3008
医療法人社団 さくら会 森田病院	923-8507	小松市園町ホ 99-1	0761-21-1555
医療法人社団 安田内科病院	921-8047	金沢市大豆田本町ハ 62 番地	076-291-2911
社会福祉法人 徳充会 青山彩光苑	926-0831	七尾市青山町ろ部 22 番地	0767-57-3309
株式会社 金沢義肢製作所	920-0935	金沢市石引 1-11-6	076-231-3328
株式会社 濟世館	920-0944	金沢市三口新町 2-2-25	076-231-7284
有限会社 丸山義肢製作所	920-1167	金沢市もりの里 2-32	076-222-1068
セントラルメディカル株式会社	920-0024	金沢市西念 3-1-5	076-262-1111
株式会社 トミキライフケア	920-0061	金沢市問屋町 2-74	076-237-0708
石川県理学療法士連盟	920-8204	金沢市戸水 1-25	076-254-1431
株式会社 大塚製薬工場	920-0016	金沢市諸江町中丁 160-1-3F	(090) 5718-6833

## マイページの内容に 変更ございませんか？

本会では会員の皆さまのマイページ登録情報（発行日の前々月末時点）をもとに士会郵送物の発送を行っております。

ご所属先やご住所等に変更ございましたら、出来るだけ速やかに会員各自でマイページに登録されている情報の修正をお願いします。

登録されている情報の修正は、日本理学療法士協会ホームページ内の【マイページ】にログインすることにより可能です。

お手数をおかけしますが、何卒ご協力をお願いいたします。

問い合わせ先

公益社団法人石川県理学療法士会事務局

〒920-8204 石川県金沢市戸水1丁目25

TEL: 076 - 254 - 1431

FAX: 076 - 254 - 1432

E-mail: info@ishikawa-pt.com

## 求人広告についての おしらせ

－広告料金－

1 / 8 ページ 5,000 円

1 / 4 ページ 10,000 円

1 / 2 ページ 20,000 円

求人広告については、下記へお問い合わせ下さい。

〒924-8511 石川県白山市笠間町 1200

金城大学 医療健康学部 理学療法学科

山本 拓哉

TEL: 076 - 276 - 4400

FAX: 076 - 275 - 4316

E-mail: yamamoto@kinjo.ac.jp

## －自由投稿募集－

県士会ニュースでは、みなさんの投稿による自由投稿枠を設けています。内容は問いません。意見、質問、表紙に相応しい写真などなんでも OK です。

投稿希望の方は下記まで、まずご連絡ください。

投稿〆切は5・8・11・2の各月の1日となっております。沢山の投稿をお待ちしております。

〒924-8511 石川県白山市笠間町 1200

TEL: 076-276-4400 FAX: 076-275-4316 E-mail: yokota@kinjo.ac.jp

金城大学 医療健康学部 理学療法学科 横田 文子

## ❀❀ 編集後記 ❀❀

令和6年度能登半島地震では、石川県民を中心にたいへん大きな影響を受けています。

県士会ニュース編集においても、今必要な記事は何かを議論し、本格的に動き始めた災害支援活動を記事に取り入れたところです。県士会ニュースが災害時にできる理学療法支援を広める一助になれば幸いです。

発行：公益社団法人 石川県理学療法士会 編集：事務局メディアネットワーク部

山本 拓哉 石田 勝也 岩佐 和明 岩田 翔平 神谷 晃央 澤田 康平

茶谷 恒太 坂下竜之助 横田 文子 北山 彩香 北川由美子 中川 允



石川県理学療法士会公式LINE

